

5) 冬期における交通現況

- ◆冬期においては、路面凍結による交通事故の多発等、交通困難がみられる。
- ◆路面凍結や積雪等により、公共交通機関の遅延が生じている。
- ◆また、積雪等により、歩行者が危険と隣り合わせになっている。

(1) 道路状況

・走りやすさマップ(冬みち版)をみると、一般国道 13 号(2 車線区間)、107 号のほか、中心市街地においても C ランクの路線がみられ、横手市全域で冬期の交通困難がみうけられる。

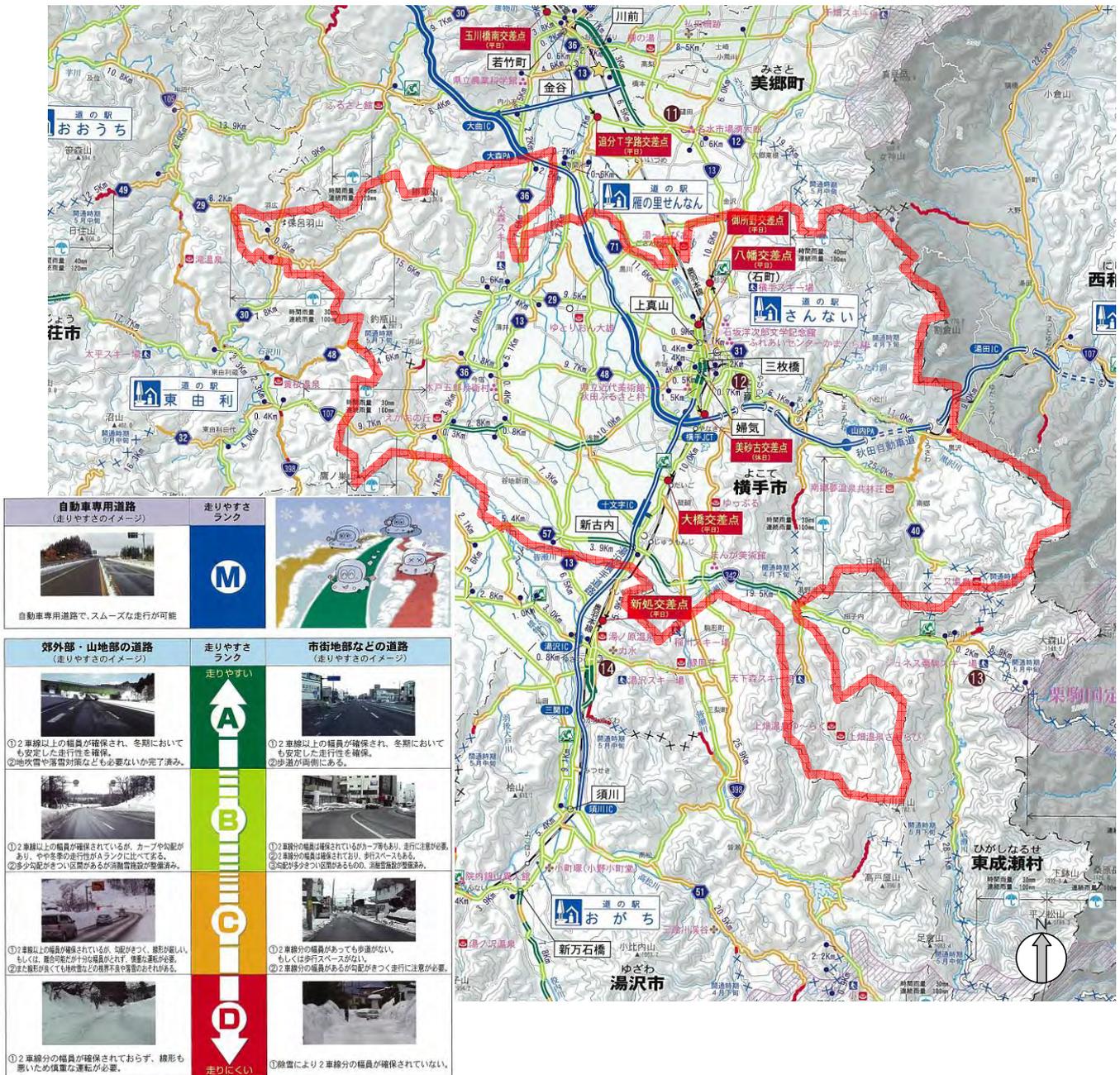


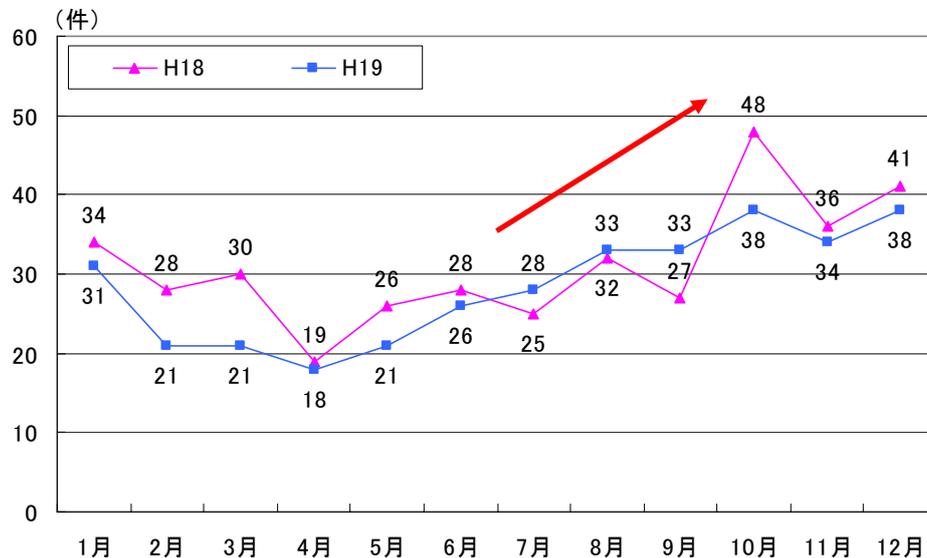
図 2-60 走りやすさマップ(冬みち版)

資料: 走りやすさマップ(冬みち版)H19.2
秋田県渋滞対策推進協議会

(2) 冬期における交通事故

① 月別にみる交通事故

・横手市の月別交通事故件数をみると、秋～冬の事故件数が多くなっている。



※平成 16 年以降は旧増田警察署管内の増田町、十文字町、東成瀬村を含む

図 2-61 横手市の月別交通事故件数

資料: 横手警察署

② 路面状況別事故類型別にみる交通事故

・横手市の路面状況別の事故類型のシェアをみると、積雪、凍結、湿潤時においては、乾燥時に比べ正面衝突、追突の割合が高い。

・特に、凍結時においては、追突が 50%となっている。

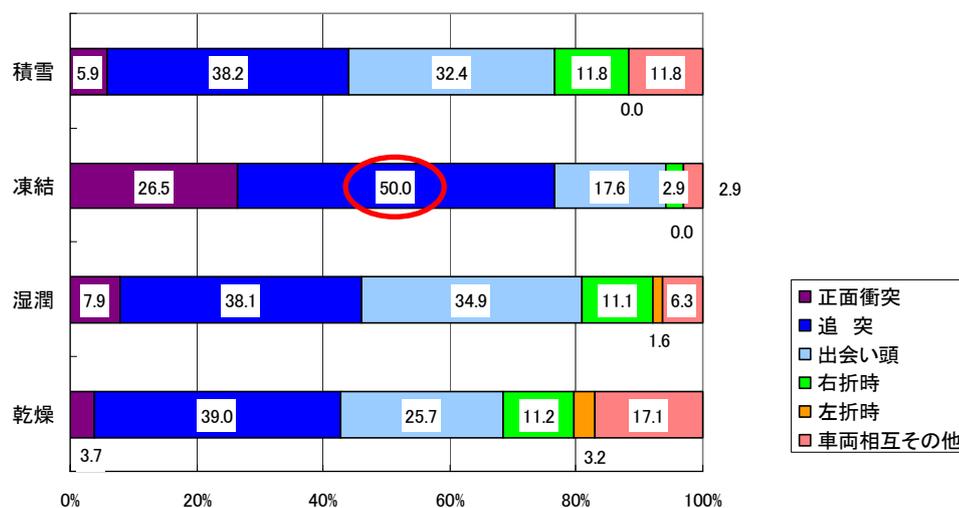


図 2-62 路面状況別・事故類型別シェア(車両相互)

資料: 交通安全マップ(H18)

(3) 冬期の公共交通の状況

- ・路面の凍結や積雪等によるバスのすれ違いの困難により、バス運行に遅延が生じている。
- ・特に、南北方面の路線(横手～大曲、横手～湯沢)に20分程の遅延が生じている。



図 2-63 中心市街地の冬期交通状況

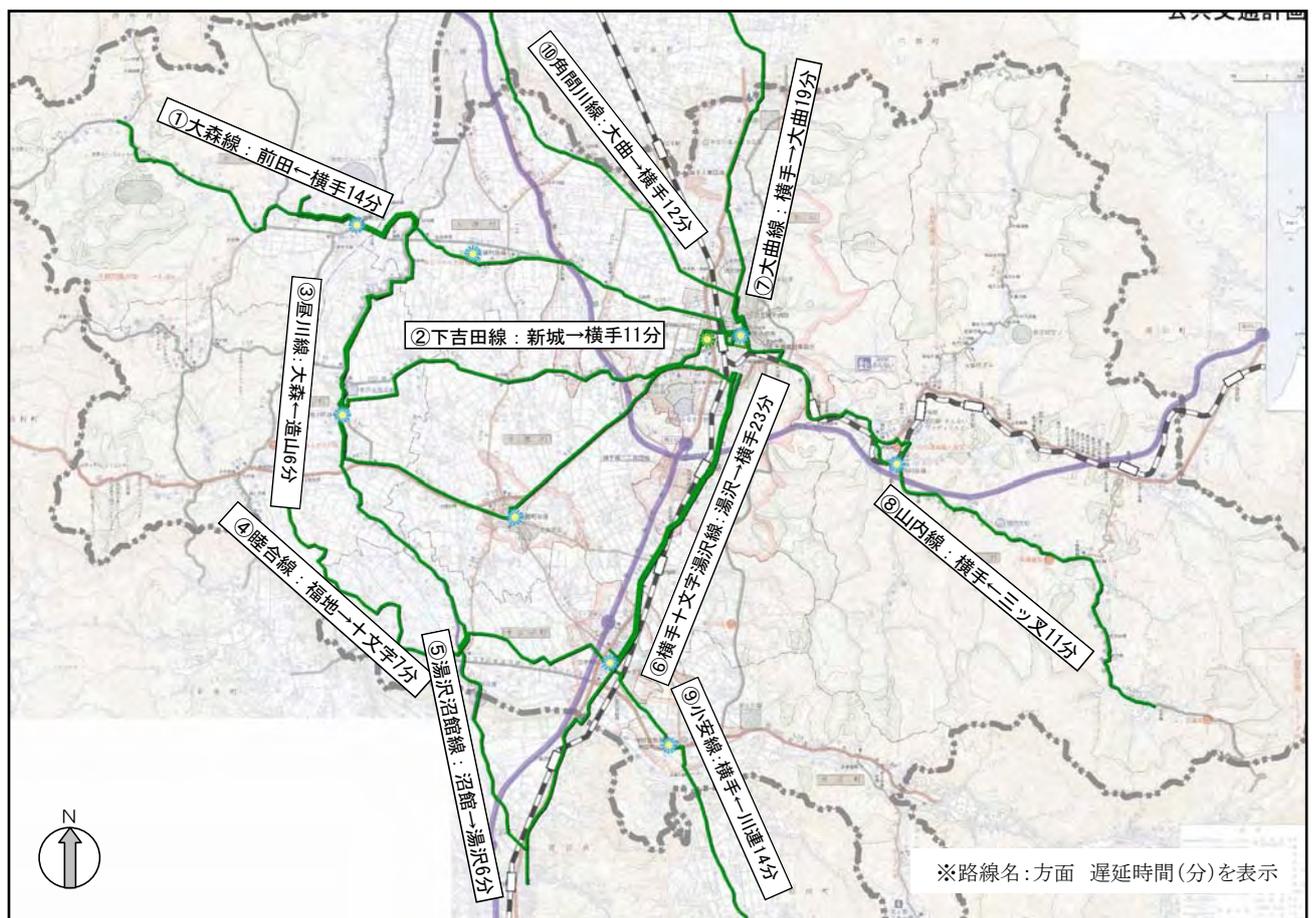


図 2-64 冬期におけるバスの遅延状況

資料: H20 実態調査結果より

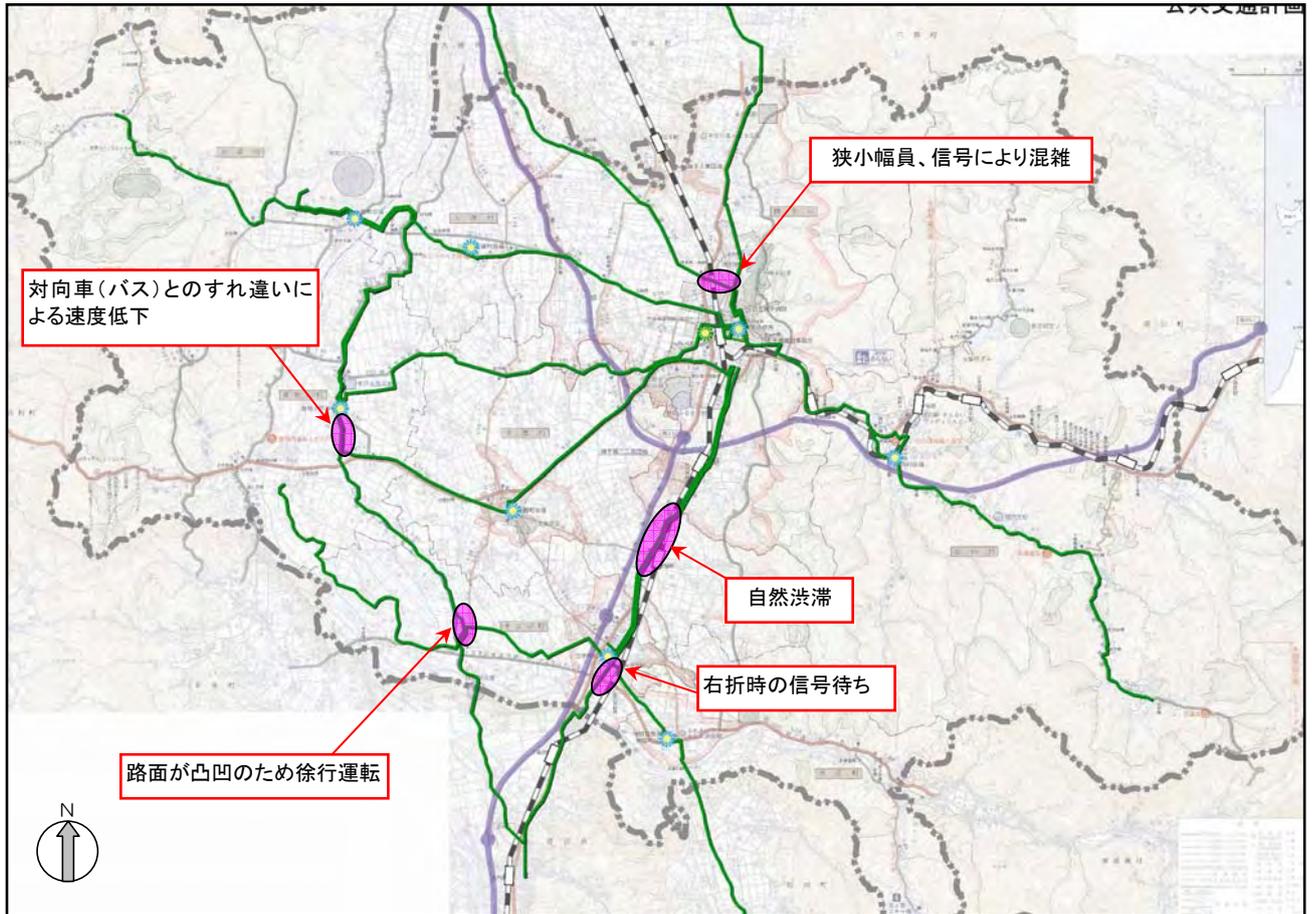


図 2-65 冬期におけるバスの遅延の原因

資料: H20 実態調査結果より

(4) 冬期の歩行者状況

- ・JR 奥羽本線東側は流雪溝が設置され、西側は一部でロードヒーティングが設置されているものの積雪等により、歩道が整備されていても歩道を歩行することができず、危険な状況となっている。
- ・また、歩道が整備されていない路線では、より危険な状況となっている。



国道 13 号横手市金沢 (H17.12.19)

▲車道を通行する学童



市道朝倉本線 横手市石町 (H18.2.13)

▲歩行スペースが無く非常に危険

図 2-66 冬期歩行者状況

資料: 東北の豪雪 平成 18 年豪雪ノ記録
国土交通省東北地方整備局

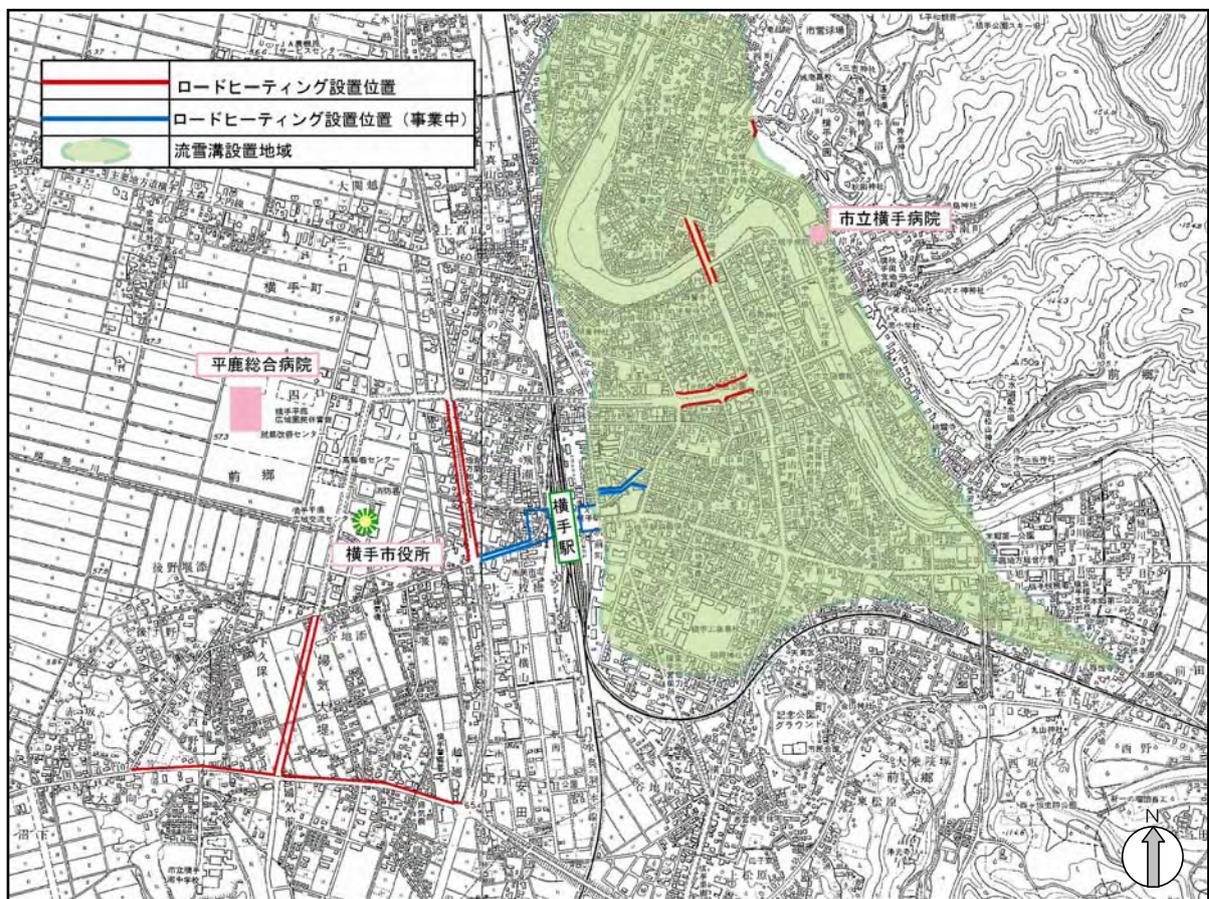


図 2-67 歩道へのロードヒーティング設置状況

(5) 除雪体制等

- ・横手市においては、「横手市除雪基本計画」、「学雪」のすゝめ」において、除雪体制や市民協働についてのルールが整理されている。

